



# 道の駅 リニューアル後の名称は

近藤 武議員

意見やアイデアを取り入れ検討する

産業建設部長



▲道の駅周辺整備事業 完成イメージパース

**問** 道の駅周辺整備事業の実施設計は、どのよう

な点に注力したのか。また、基本設計時から計画の方向性の変更されたところはあるのか。

**答** 多くの方に快適に利用してもらえ、観光拠点の創設に向け、利用者のニーズに配慮した。関係機関との協議内容を踏まえた設計を行うとともに、既存の道の駅の機能を停止させることがないような計画を立てた。

**問** 事業の財源として、合併特例債約39億9千万円を最大限活用し、一般財源の圧縮を進めているが、合併特例債の償還

基本設計時からの整備コンセプトの変更はないが、サウンドディング調査結果を踏まえ、花はす田の形状の変更や芝生広場の拡大、パーゴラ、ベンチを増設するとともに、インクルーシブ遊具を設置する予定だ。

による実質負担額の見込みと後年への影響は。

**答** 現段階で一般財源を含め約16億円の見込み。起債額を全て同一年度に借入れず、事業の進捗に応じ、各年度の起債額を決定していく。

過去に借り入れた事業の償還終了による減少要因もあるため、償還額がこれまでに比べ大きく膨らむことはない。

**問** 令和7年度からの新たな指定管理者の選定は、どのように進めるのか。

**答** 10年間の指定管理期間を予定。現在実施方針など詳細を検討中。令和5年7月中に市のホームページに事業概要などを示した「実施方針」を記載し、10月中に管理概要や要求水準などを示した「募集要項」を公表。11月中に募集受付を開始し今年度中に選定する。

**問** リニューアル後の名称を、どのように考えているのか。

**答** 「道の駅周辺整備事業」では道の駅と都市公園を一体管理することにより、市外の方々にも「素敵な道の駅のある愛西市」と容易に連想してもらえるような、本市を象徴する観光拠点を創造し、知名度の向上や来訪者の増加を目指している。

道の駅及び都市公園の名称は、「本市の魅力が伝わる」「覚えやすい」「親しみやすい」名称とする必要があるため、特に次代を担う若い人たちの意見やアイデアを取り入れつつ検討をしていく。